

大清水中だより

教育理念 自由と責任

教育目標 『感謝 努力 創造力』

2022年1月7日発行 1月号 <http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/> TEL 0466-50-8353

藤沢市立大清水中学校

〒251-0002

藤沢市大鋸 1400

校長 百武 三郎

正月立つ 春の初めにかくしっつ

相し笑みてば 時じけめやも

(大伴家持)

新年おめでとうございます。冒頭の短歌は万葉集におさめられた大伴家持の作品です。現代語にすれば、「お正月という春の初めにこのように人々が集まって、共に笑いあうのは何とも楽しいひと時ですね」という感じでしょうか。コロナ禍なので大勢が集まって笑いあうことも難しいですが、少しでも状況が好転し生徒も保護者も職員も皆で笑いあえる一年となるように、様々な行事を工夫し知恵を絞りだして、大清水中学校の職員一同、今年も全力で頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



学びは楽し、いつまでも

かつて教え子に向かって「中学生は学ぶことが仕事なのだ」と話したことがあります。すると生徒は「いいなあ…大人は勉強しなくて…」と返してきました。本当にそうでしょうか？アインシュタインは「学べば学ぶほど、自分がどれほど無知であるかを思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる。」と語っています。また、ベンジャミン・フランクリンは、「もし財布の中身を頭につぎ込んだら、誰も盗むことはできない。知識への投資がいつの世でも最高の利子を生む。」と語っています。私たちは大人になると“学校”という場所では学ぶことをしなくなっても、様々な場面で学ぶことを続けています。何歳になっても学ぶことはあるのです。

20年以上も前のことですが、ある年配の方に「ローマ字の読み方を教えてほしい」と頼まれたことがあります。訳を聞くと、「民生委員をされていて家を訪ねるが、表札がローマ字で書かれていると誰の家かわからなくて困るし、お店の名前も読めなくて困るから」とのことでした。その方が学校に通っていた当時は、ローマ字もアルファベットなども学習しなかったそうです。アルファベットとローマ字の表を作って渡すと「勉強する」と言って取り組んでおられました。その後、様子を聞くと表札も店の名前もわかるようになったと笑顔で答えてくれました。その方は80歳を過ぎてから初めて海外旅行にも行き、「英語はよくわからないが、アルファベットで書かれたものは、少しは読めた」と話してくれました。その時の嬉しそうな表情は未だに忘れられません。



中学生にとっては毎日の学習は苦痛かもしれません。しかし、勉強に十分な時間を費やすことができるのは学生の時だけです。大人になれば学ぶための時間をわざわざ作り出さなければならず、費用も想像以上にかかるものです。今年の目標に「笑顔で楽しんで学習する」が加わるといいなあと思いました。

今回も、ささやかな気持ちです…

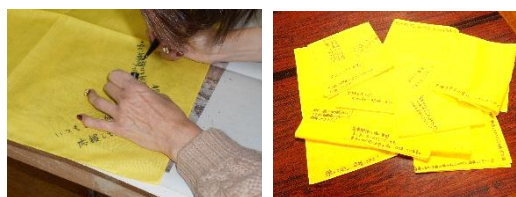
一昨年12月に医療関係者や入院患者さんに向けて感謝と応援のメッセージを張り出し、そのことが昨年2月にメディア等で紹介されました。その後も大清水中学校では何かできることはないか、細く長く続けられることはないかと探ってきました。そして今回は『千羽鶴』プロジェクトと『倅せの黄色いハンカチ』プロジェクトに取り組んでいます。



『千羽鶴』プロジェクトは生徒会が中心となって取り組んでいます。鶴は千年、亀は万年と言いますが、その縁起の良さから千羽鶴は作られ始めたそうです。病気快癒、長寿祈願、幸福祈願、感謝といった意味が込められています。全校生徒が一人一羽以上の折り鶴を折ってつなげ、医療スタッフや患者さんへの感謝と応援の思いを届けたいと考え、取り組んでいます。また『倅せの黄色いハンカチ』プロジェクトは山

田洋二監督の1977年の作品「幸せの黄色いハンカチ」にヒントを得て、私が言い出しました。生徒の頑張りだけでなく、生徒の頑張りに負けぬよう大人も想いを伝えたいと思ったからです。そして、「幸せ」ではなく「倖せ」という字を使ったのは、“幸せは傍らに人がいることで感じられるもの”と思ったからです。これはコロナ禍になって一層強く感じたことです。

12月の三者面談中の控室にメッセージを書いてもらおうと黄色いハンカチを置きました。メッセージを書いて下さったある保護者の方は「コロナ禍で医療スタッフの皆さんに何かできることは？とずっと考えていました。コロナウイルスに感染しないようにすることぐらいしかできなかつたのですが、こうやって気持ちを表すことができてスッキリしました。」と話してくださいました。学校に来る機会がありましたら、ぜひ黄色いハンカチにメッセージを書いて下さい。校長室（職員室）に声をかけて下さい。また、折り鶴もお待ちしています。



「全集中！〇〇の呼吸」は火事場の馬鹿力？

テレビや映画で「全集中！〇〇の呼吸」というフレーズが幾度となく流れ、小さな子どもが公園で「全集中、〇〇の呼吸」と言いながら遊んでいる姿を見ました。この「全集中！〇〇の呼吸」というのは火事場の馬鹿力のようなものではないかと思うのです。火事場の馬鹿力とは普段はそんな力が出るはずもないのに、火事場のような緊急事態では普段では想像できないようなもの凄い力が出るというものです。人間の体（筋肉）はそれだけの大きな力を発揮できても、普段はリミッターをかけることで体が壊れないように守っているのだそうです。しかし緊急事態ではそのリミッターを外し極限の力を発揮して身を守るのだそうです。冒頭の全集中はこのリミッターを自分の意志で外すことではないかと思えます。なかなか簡単にはできないことなのでしょうが、その道で一流と呼ばれる人は、低い次元ではなくより高い次元にリミッターを持っていけるよう訓練を行っているそうです。その結果、一般人からすると、驚くほどの力を日常的に発揮できるのでしょうか。日ごろの訓練がリミッターを高い次元にすることは間違いがありません。1年生、2年生は進級に向けて実力を高める3か月、3年生は入試に向けた追い込みと義務教育の締めくくりの時期になりました。それぞれの目標に向かって、もうひと踏ん張りです。

1月の予定

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	土	元日 2022年 令和4年 壬寅	17	月	
2	日		18	火	
3	月		19	水	
4	火	学校業務停止期間	20	木	<div data-bbox="917 1422 1117 1556" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 大清水中 雪景色 </div>
5	水		21	金	
6	木		22	土	私立高校推薦入試
7	金	授業始め	23	日	
8	土		24	月	
9	日		25	火	1年八ヶ岳野外体験教室
10	月	成人の日	26	水	2年鎌倉めぐり 3年学年末テスト
11	火	専門委員会	27	木	1年午後登校
12	水		28	金	
13	木	あいさつ運動 全校評議会	29	土	
14	金	あいさつ運動	30	日	
15	土	STOP いじめ中学生の集い	31	月	
16	日		1	火	

